

CEPO半田バイオマス発電所の営業運転開始について

フルハシEPO株式会社（代表取締役社長：山口 直彦、本社：名古屋市中区）は、株式会社シーエナジー（代表取締役社長：佐古 直樹、本社：名古屋市中区）、以下「シーエナジー」と共同で設立した「CEPO半田バイオマス発電株式会社」において本日2019年10月1日、バイオマス発電所の営業運転を開始いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、地球環境にやさしい再生可能エネルギー開発を目的に、2017年4月に特別目的会社「CEPO半田バイオマス発電株式会社」を設立し、2017年10月より発電所の建設工事を行ってまいりました。CEPO半田バイオマス発電所は、建設廃材等由来の木質リサイクルチップ（以下「木質リサイクルチップ」）とパーム椰子殻を燃料とする出力50,000kWの木質バイオマス発電所です。

当社は、引き続き積極的に再生可能エネルギーの普及・拡大に努めてまいります。

【CEPO半田バイオマス発電所の概要】

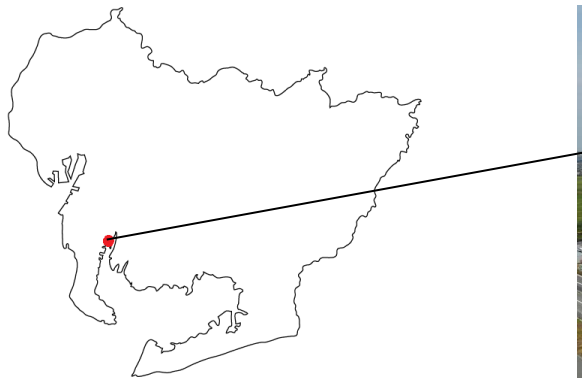
会社名	CEPO半田バイオマス発電株式会社
出資会社	株式会社シーエナジー（90%）、フルハシEPO株式会社（10%）
発電所名	CEPO半田バイオマス発電所
事業場所／ 発電所所在地	愛知県半田市日東町4の1
発電出力	50,000kW（発電端）
想定年間発電量	約3.7億kWh（一般家庭 約119,000世帯分に相当）
燃料種別	木質リサイクルチップ、パーム椰子殻
燃料使用量	約28万トン／年 （木質リサイクルチップ約15万トン／年、パーム椰子殻約13万トン／年）
CO ₂ 排出削減量	約15万トン／年

添付書類：CEPO半田バイオマス発電所について

CEPO半田バイオマス発電所について

【所在地】

愛知県半田市日東町4の1

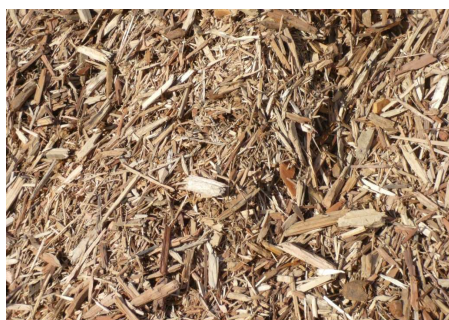


(発電所全景)



【使用する燃料】

木質リサイクルチップ



パーム椰子殻



以上